

豊かにはぐくもう！ 自然・生きもの

自然・生きもの

墨田区は、大部分が平坦な低地で、南部は埋め立てによってつくられた土地です。現在はそのほとんどが、コンクリートとアスファルトにおおわれましたが、区内を8つの河川が流れ、緑が残る寺社や公園も数多くあります。それら小さな緑地や水辺にも木々が育ち、花が咲き、虫や鳥たちがやってきます。このガイドを参考に、人と自然の関わりを見つめなおし、都市に息づく身近な自然を感じてみませんか。

秋には北から南へ、春は南から北へ、1,000キロ以上を渡りまわることが知られています。向島百花園では10月頃、このチョウの好きなフジハカマの花が咲き、南方に渡る途中の個体が、毎年のように観察されています。

すみだの 自然と生きもの Guide & Map ガイド編

2009年3月発行 2021年3月改定
【編集・発行】東京都市環境研究所 TEL 03-5608-1111(代表)
【参考文献】すみだ歴史文化資料館 常設展示図説(社)東京都公園協会協会誌 No.41



チョウのように
ひらひらと飛ぶすがたが特徴です。都会ではめったに見られません。区内では大橋川緑水公園の万華池や向島百花園で、観察することができました。



すみだで見つけた！
Parantica sita アサギマダラ 10月/向島百花園



すみだで見つけた！
Ceratophryx nipponicum ベニイトトンボ 7月/大橋川緑水公園

すみだで見つけたよ！

近い将来に絶滅してしまうおそれがある生きものとして、環境省のレッドデータブックにも掲載されている貴重な種です。大橋川緑水公園の万華池で、数年間続けて確認されました。



開園から200年以上を経た向島百花園。

都市に息づく すみだの緑地や公園のひとつひとつは 小さな場所ですが、いろいろな特徴があります。

1 人が育て、守ってきた自然
すみだには、自然の森や林はありません。しかし江戸時代に作られた向島百花園には、四季折々の日本の草花が数百種も植えられ、自然に近い環境は多くの鳥や昆虫のすみかとなりました。また、区内には数多くの寺社があり、貴重な緑地となっています。



すみだで見つけた！
Alcedo atthis カワセミ 2月/旧安田邸跡

1 大昔、すみだは海だった

大昔の墨田区は、古東京湾の海底に沈んでいました。古墳時代(3～7世紀)頃から、河川の下流には運ばれる土砂によって土がで、人が住み始めるようになりました。江戸時代初期には、向島地域は人がくらす農耕地で田んぼや畑が広がっていましたが、本所地域はまだ湿地帯でした。



古墳時代の海岸線はAとBの間にあっただと考えられています。

かんきょう環境のあゆみ

すみだのまちは、はじめから今のようすがただったわけではありません。現在のすみだとなるまでの長い歴史をふりかえってみましょう。

2 向島百花園の誕生

1657(明暦3)年の「明暦の大火」をきっかけに、本所地域が埋め立てられ、武士や町人がくらす「江戸のニュータウン」ができました。これが現在の墨田区の原形です。また、1804(文化元)年に開園した向島百花園は日本初のビオトープともいわれています。庶民の間では朝顔など露地園芸や盆栽がさかんでした。

江戸時代の浮世絵には「水母寺」「三めぐり」などの地名や墨田の橋が描かれています。(江戸名所一覧双六 歌川広重(二代)画より)

3 まちの工業化とともに消えた魚

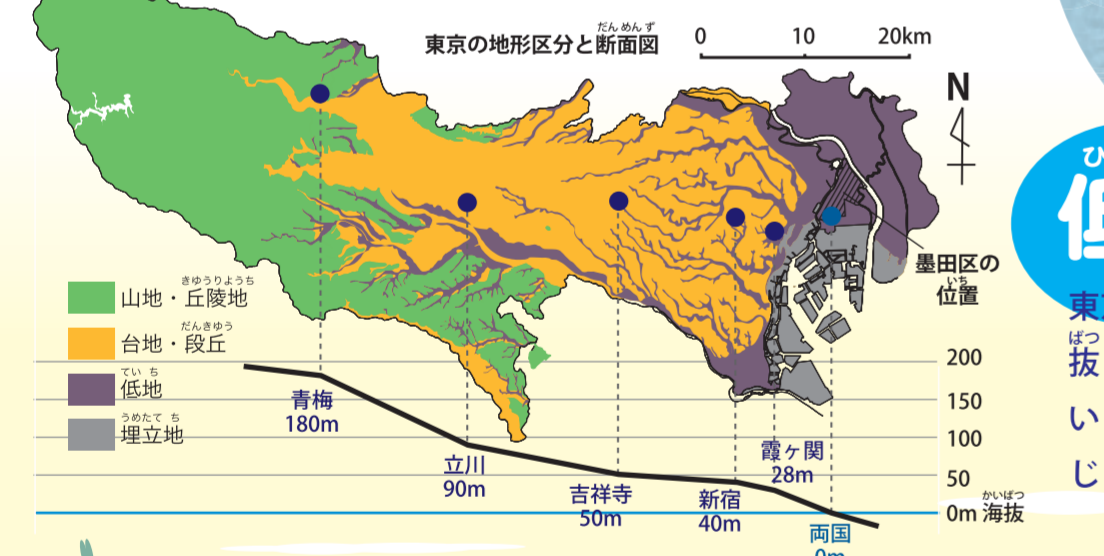
明治から大正、昭和にかけて、緑地や畑が次々に工場へと変わっていききました。昭和30～40年代の高度経済成長期には、工場排水や生活排水が川に流れ込み、汚れた隅田川では、魚などの生きものがすみにくくなってしまいました。

4 2度の大火による生きものの危機

1923(大正12)年に起きた関東大震災、そして1945(昭和20)年の東京大空襲で、墨田区は大きな被害を受けました。わずか二十数年の間にまちとそこにくらす生きものが二度も壊滅的な被害を受けるというのは世界でもめずらしいことです。しかし、まちの復興とともに、生きものも川や街路樹をつたってやって来て、自然環境がよみがえっていききました。

5 自然の回復に向けて

昭和50年代に入ると、下水道の整備が進んだことで、隅田川の水質も大きく改善され、魚も戻ってくるようになりました。生きものや人を川から遠ざけた「カミソリ護岸」も、近年では自然に近づけようという取り組みが進んでいます。



低く平らな地形

東京の西部には日本最大の武蔵野台地が広がり、青梅(海抜180m)あたりを頂点として、東へだんだんと下がっています。墨田区の付近では、地面は海面の高さとほぼ同じぐらいになっています。

げんざい現在のすみだ

2018年5月撮影



7つの区に囲まれ、8つの河川が流れる墨田区。空から見ると一見緑が少なく、大きな森林や緑地はありませんが、川の周辺や小さな緑地にたくさんの生きものがすみ、近隣区からも行き来しています。

2 多様な生きもの

住宅や商業地域が多い墨田区ですが、河川敷や公園などでたくさんの生きものが確認されています。2018(平成30)年度に実施した生物調査では、およそ54種の野鳥、504種の昆虫、25種の魚、90種の水生生物などが確認されています。

青中のコバトブルーが美しい野鳥です。水辺に生息するため、水質汚染が進んだ1960年代には全国的に数が減少しましたが、現在は区内でも大橋川緑水公園、隅田公園、向島百花園、旧中川などでとぎとぎ見ることが出来ます。



隅田川から見た木根川橋からのぞく荒川川敷。

3 川と海が出会う水辺

墨田区を流れる川のほとりには、川の水(淡水)と海水が混ざる汽水です。川の水質もよくなるにつれて、ハゼやスズキ、ボラなどの海に生息する魚も多く見られます。川の水質もよくなるにつれて、海との水質の境界線も変わっていききました。

つくる、生きもののはこみ道

水と緑は生きものの中継地
小さな水たまりやわずかな緑地にも、トンボやチョウ、さらに野鳥もやってきます。そんなスポット(中継地)を増やすことで墨田区や周辺に豊かな生きもののはこみ道ができるのです。雨水利用を進めている墨田区では、まちの中の水辺に雨水を溜めたり、雨水をためたり、浸透させることで緑を育んでいます。水と緑のはこみ道が墨田区にはたくさんの生きものが集まってきます。

荒川は生きもののはこみ道！

荒川は隅田川が上流部から連続的につながって、生きものにとっては重要な役割を果たしています。そのため、昆虫などで珍しい種類が見られることがしばしばあります。

トンボの移動能力は

トンボは飛ぶ能力が強く、種によっては何百キロも飛ぶことができます。またアキアカネは墨田区生まれのも夏の間は数十キロ離れた群馬や福島の山地で過ごし、秋になると産卵のため戻ってくるということが知られています。小さなイトトンボでも1～2キロは移動することがあるそうです。

チョウや野鳥が住み着くために

チョウや野鳥が住み着くためには、幼虫の餌となる植物が必要です。都会にアオスジアゲハが多いのは、食糧のクサやタバコが街路樹や公園に多いからです。アオスジアゲハの幼虫はクサやタバコを食べて育ちます。アオスジアゲハのウメノスズクサとチョウの種類によって餌となる植物も異なります。植生を多様化することは生息できるチョウの多様化につながります。

アオスジアゲハの幼虫は、チョウが生まれるまでの間に、成虫が食べた植物も必要です。アオスジアゲハの幼虫は、クサやタバコを食べて育ちます。アオスジアゲハのウメノスズクサとチョウの種類によって餌となる植物も異なります。植生を多様化することは生息できるチョウの多様化につながります。

生きものと共にくらすまちづくり～墨田区の取り組み～

まちに身近な実践 豊かな緑を

1972(昭和47)年3月の「緑化宣言」以降、公園や道路などの公共施設と民間の緑化を推進しています。緑が増えると、鳥や昆虫の移動ルートをつくり出す効果があります。

壁面緑化～みどりのカーテン
横川保育園のカーテン。夏の日照をさえぎり、まわりの温度を下げる働きがあります。壁や窓、ベランダなどを利用して個人でも簡単に始めることができます。

ましかど緑化
まちにうるおいを与えるプランター、ハンギングバスケット、墨田区ハンギングバスケット愛好会と協働で普及を進めています。

小学校の取り組み 生態系のシンボル、ヤゴから学ぼう！

多くの小学校で、ヤゴ(トンボの幼虫)から学ぶ体験学習を行っています。生きものに直接ふれたり、水のおいしさや、五感をフルに使って自然とふれあう機会となっています。

プールの生態系ピラミッド
ヤゴ以外の生きものも救出し、ヤゴのえさのルーツを探ると、生きもの同士の「食べる」「食べられる」の関係がわかり、生態系のバランスが見えてきます。

プールのヤゴ救出作戦

秋以降の学校プールは、ヤゴのさかすかの時期。夏のプール開き前にヤゴ救出作戦を行い、トンボになるまで飼育観察しています。

年	参加校	救出数
2016	17(25)	4,973
2017	17(25)	8,064
2018	19(25)	1,456
2019	19(25)	3,906
2020	救出作戦は中止	
救出数合計		18,999

(2020年度は新型コロナウイルス感染症の影響で実施できず)

わくわく子どもの池プロジェクト
企業や環境NPOと協働で、「生きもの共生するまちづくり」を考える総合学習授業を行っています。

地球にやさしい水と緑のまちへ～すみだの未来

墨田区では、「環境の共創」をテーマに、区民・事業者と協働で環境負荷の少ない、「地球にやさしいすみだ」をめざした活動に取り組んでいます。

スカイツリー街区の屋上緑化
平成22年度に改訂した墨田区緑の基本計画では緑の総量を増やし、目に見える緑を増やすとともに、自然を回復し、人と自然の共生を図ることが方針となっています。また、大規模な再開発を併せて、民間の協力が得られ、緑を増やしています。東京スカイツリーの開業で地域の景観も大きく変わりましたが、緑化についても地上部周辺だけでなく、ツリー街区の屋上にも多くの植物が植えられています。

参加しよう！ 始めてみませんか？

生きものや自然に関する講座やイベントを開催しています。サポーター活動には、子どもから大人まで、生きものや自然に興味のある方が随時参加できます。

緑と花のサポーター
緑と花の学習園を拠点に活動する、緑化ボランティア。花壇の手入れ、イベントの手伝いなど、「みどり」を愛する方なら誰でも参加できます。

講座・イベント
「すみだ環境フェア」などのイベントのほか季節に応じた各種講座を開催しています。

ビオトープは生きもの空間

ビオトープとは、多種多様な生きものが共にくらす自然空間のことをいいます。小さな点であるビオトープを増やすと、そこを往來する生きもの道(線)ができ、さらにそれが河川敷のような面につながることで、豊かな自然をはぐくみます。

大橋川緑水公園万華池
たくさんの種類の生きものお宝庫「にぎわい」のある池にするために、2014(平成26)年と2020(令和2)年に、池の水を抜き水草や池底の泥を除去する環境改善を行いました。写真は池の経年変化の様子です。

平成22年4月

平成18年5月

平成26年6月

平成27年3月

令和2年10月

大橋川緑水公園万華池

たくさんの種類の生きものお宝庫「にぎわい」のある池にするために、2014(平成26)年と2020(令和2)年に、池の水を抜き水草や池底の泥を除去する環境改善を行いました。写真は池の経年変化の様子です。

平成27年3月

令和2年10月

緑地を増やす、指導と支援 緑化指導

墨田区では1978(昭和53)年から一定規模以上の開発行為に対して、緑地の整備を指導しています。2003(平成15)年以降は、必ず事前に相談してください。

- 屋上緑化：屋上を新たに緑化する時
- 緑のへい：道路に面した所に生け垣や植帯帯などに設置するとき
- 壁面緑化：建物の壁面を新たに緑化する時

助成金制度
区では、まちに緑を増やすため、以下に関する工事費の一部を助成しています(上限40万円)。内容により、助成対象になります。

お問い合わせ：墨田区環境保全課 TEL03-5608-6208 e-mail: KANKYO@city.sumida.lg.jp

Biodiversity in Sumida, Tokyo

生きもの、発見!

まちへ出て、見つけよう、観察しよう。

生きものすみかとなる緑地や水辺のスポットと、特にたくさんの生きものに出会うことができる観察場所を地図に表しています。
墨田区を空からながめ、トンボや鳥になっつもりで移動のルートを考えてみよう。
何種類の生きものに出会えるかな? 外へ出て、写真と見比べながら、探検してみよう。



すみだの自然と生きもの Guide & Map

生きもの図鑑・マップ編

2019年9月発行 2021年3月改定
【編集・発行】東京都市圏 都市整備部 環境管理課 環境保全課 TEL 03-5608-1111(代表)
【参考文献】すみだ区文化資料館 常設展示図説 (社)東京都市圏調査業協会技術ノートNo.41

1 四季の草花がいっぱい!
向島百花園
江戸時代につくられた、200年以上の歴史がある公園。高木や低木、野草、水辺などいろいろな環境があり、野草や昆虫が多く見られます。花の咲く草花が多いので、四季折々の変化を楽しむことができます。※入園料が必要です。休園日：年末年始(12/29~1/3)

おすすめベスト5 観察スポット
区内でも特に多くの生きものが観察できる場所です。

2 春は桜、冬は野鳥を見に行こう!
隅田公園
芝生広場が整備され、明るく、利用しやすい公園にリニューアルされました。冬場のひょうたん池には水鳥、特にオナガガモやユリカモメが多く、ときにはアオサギやカワセミも見られることがあります。

3 トンボの種類は墨田区いちばん!
大横川親水公園
細長い緑地は2kmもの長さがあり、たくさんの野鳥や昆虫の貴重なすみかになっています。特に法恩寺橋から清平橋の間にある万華池では、さまざまな種類のトンボが見られます。

4 まとまった自然が残る場所。
荒川河川敷
草地にはバッタが多く、アシ原ではイトトンボやクロベケイガニなどの水辺の生きものや野鳥も見られます。京成八広駅付近は水辺公園がつくれ、花畑ではチョウなどが多く見られます。

5 水鳥や魚を見つけよう!
旧中川水辺公園
旧中川の水辺が整備され、憩いの場所となっています。水鳥を中心とした野鳥やハゼなどの水辺の生きものが観察できます。

公園をたんけん探検しよう!

6 東白根公園
区内最大の公園でハードウォッチング! シヤカン類の樹木が多く、ツグミやヒヨドリなどの野鳥が観察できます。

7 旧安田庭園
江戸時代につくられた、大名庭園。高田国太郎の北側にあり、敷地内の池は以前は隅田川とつながっていました。シイなどの樹木が植えられ、野鳥も多く見られます。※休園日：年末年始(12/29~1/1)

8 横綱町公園
一角には水路を配したビオトープも。関東大震災の犠牲者を記した慰霊碑や復興記念塔を囲むようにシイなどの大きな樹木が植えられています。

9 あずま百樹園
樹木がいっぱい! 背の高い樹木が多いため、クロアゲハなどがのびやかな昆虫が見られます。

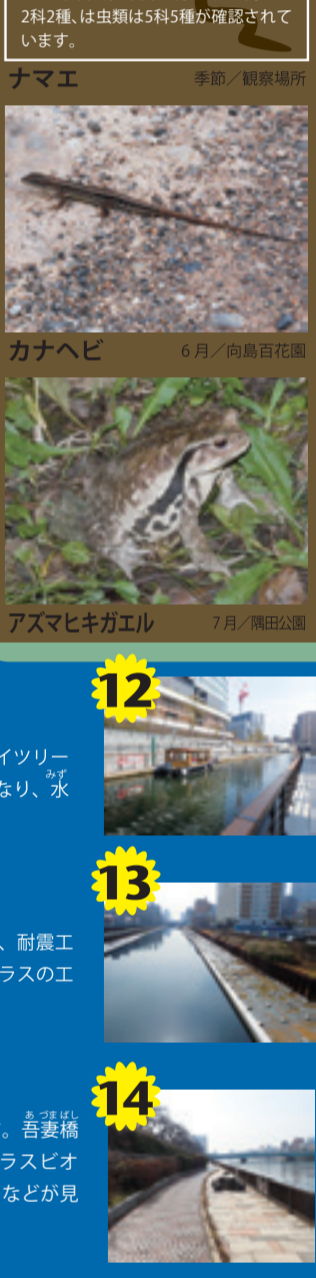
10 緑と花の学習園
約350種を植えた区立植物園。季節の花やハーブなどを育てています。春にはウグイスの姿も見られます。※休園日：祝日、年末年始(12/29~1/3)

11 錦糸公園
桜がきれいなスポーツ公園。管理が行き届いているため昆虫は少ないようですが、桜を中心とした樹木と野鳥の姿を見ることが出来ます。

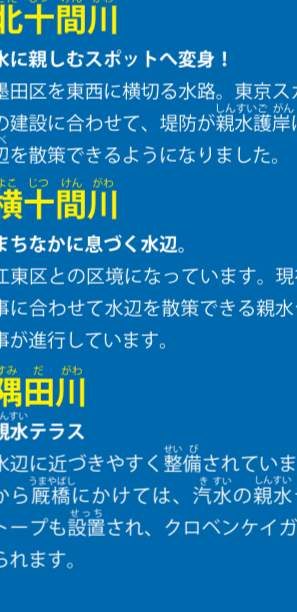
水辺の生きもの



両生類・は虫類



水辺を歩いてみよう!



凡例

- 公園・緑地
- 特別保全樹木
- 緑化協定
- 学校敷地
- まとまった緑が残り、水辺を取り組みも進んでいます。
- 屋上緑化
- 壁面緑化
- 面積1000㎡以上の緑地等
- 主要な池・ビオトープ
- 公共施設や商業施設等で屋上緑化をしています
- 公共施設や商業施設等で壁面緑化をしています
- 定で学校敷地を緑化しています。

かんさつ観察に出かけよう!

すみだで観察された生きものたち

この他にも区のホームページでたくさん紹介しています。投稿募集中! すみだの生きもの写真館 http://www.city.sumida.lg.jp/kurashi/kankyoku_hozen/sizen_ikimono/picture/index.html

昆虫・クモ ナメ (季節/観察場所) オオアイトトンボ (10月/大横川親水公園) アキアカネ (10月/向島百花園) ノシメトンボ (11月/向島百花園) アオスジアゲハ (5月/隅田公園) ルリシジミ (9月/向島百花園) ハラヒロカマキリ (9月/大横川親水公園) シジュウカラ (2月/向島百花園) オナガ (6月/大横川親水公園) アオサギ (9月/隅田公園) オオパン (2月/向島百花園) ユウゲショウ (5月/隅田公園) ガガイモ (11月/隅田公園)	野鳥 ツグミ (1月/東白根公園) ヒヨドリ (1月/隅田公園) イソシギ (12月/隅田公園) ジョウビタキ (2月/向島百花園) ツバメ (4月/清平橋~丁目) ダイサギ (12月/隅田公園) セイタカシギ (1月/隅田公園) オオチシバリ (4月/隅田公園) ガマ (7月/大横川親水公園)	植物 ナメ (季節/観察場所) ユリノキ (5月/東白根公園) アサギ (4月/隅田公園) オオチシバリ (4月/隅田公園) ガマ (7月/大横川親水公園) アサギ (4月/隅田公園) オオチシバリ (4月/隅田公園) ガマ (7月/大横川親水公園) アサギ (4月/隅田公園) オオチシバリ (4月/隅田公園) ガマ (7月/大横川親水公園)
アオモイトトンボ (9月/大横川親水公園) アキアカネ (10月/向島百花園) ノシメトンボ (11月/向島百花園) アオスジアゲハ (5月/隅田公園) ルリシジミ (9月/向島百花園) ハラヒロカマキリ (9月/大横川親水公園) シジュウカラ (2月/向島百花園) オナガ (6月/大横川親水公園) アオサギ (9月/隅田公園) オオパン (2月/向島百花園) ユウゲショウ (5月/隅田公園) ガガイモ (11月/隅田公園)	ジョウビタキ (2月/向島百花園) ツバメ (4月/清平橋~丁目) ダイサギ (12月/隅田公園) セイタカシギ (1月/隅田公園) オオチシバリ (4月/隅田公園) ガマ (7月/大横川親水公園)	アサギ (4月/隅田公園) オオチシバリ (4月/隅田公園) ガマ (7月/大横川親水公園) アサギ (4月/隅田公園) オオチシバリ (4月/隅田公園) ガマ (7月/大横川親水公園)
クロイトトンボ (7月/大横川親水公園) コシアキトンボ (8月/大横川親水公園) ナナホシテントウシ (5月/隅田公園) ウラナシシジミ (9月/隅田公園) ショウリュウバッタ (10月/隅田公園) アスチゲモ (10月/向島百花園)	メジロ (2月/向島百花園) ヒバリ (3月/隅田公園) ユリカモメ (4月/隅田公園) キンクロハジロ (1月/隅田公園) サクラタテ (10月/大横川親水公園) ヤマモモ (6月/大横川親水公園)	アサギ (4月/隅田公園) オオチシバリ (4月/隅田公園) ガマ (7月/大横川親水公園) アサギ (4月/隅田公園) オオチシバリ (4月/隅田公園) ガマ (7月/大横川親水公園)